

町の考え方を問う

一 般 質 問

12月定例会では財政問題・教育問題など、町政全般へ7人13項目にわたり質問しました。

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。
(順不同)

- 住民参加型ミニ市場公募債について
- 職員定数・給与の見直しについて
- 2004年度予算編成にあたっては、高齢者施策の充実を最優先に
- 小田原・箱根地方における観光資本への外国系資本の参入と国県などの広域計画について町はどのように注視し、現状を把握しておられるのか
- 幼児学園の運営と保育料使用料値上げについて
- 学童保育の充実について

生涯学習

公民館活動の充実と
コミュニティ施設について

Q 次の4点について伺う。
1 各地域の公民館はどのような役割をもつて運営されているのか
2 公民館の生涯学習講座、学習活動は現在どのように計画し、開催しているのか、また、年間予算と講座の内容、回数についてはどのような状況か
3 各地域の公民館の活性化を図る施策は考えているのか、また、どう進めるのか
4 公民館のない湯本地域での講座の開催はどのように考えるのか、また、湯本地域のコミュニティセンター、

公民館の設置については、どのように進めていくのか
1 点目について、住民の皆さんの教養の向上と健康増進などを図るため、社会教育センターを生涯学習の拠点と位置づけるとともに、4つの地域公民館と連携を図りながら、各種講座、教室の開催をはじめ、自主的なサークル活動に対して支援を行っている。

A

2 点目について、公民館を利用するサークル、グループの皆さんからの情報収集、各種講座等の終了時に行うアンケート調査の結果などを参考

にし、企画・立案をしている。また、本年度の講座、教室の概要ですが、IT講習会は1コース4回を12コース、予算は75万円、料理教室が4回で6万円、正月飾りづくり教室が3回で6万円、健康づくり面から気功教室など8講座延べ66回で11万円をお認めいただき、事業を展開している。

3 点目について、地域公民館での講座については、正月飾りづくり教室、子ども折り紙教室をはじめ、自治学習出張講座などを開催している。また、地域では公民館の活性化とコミュニティを推進するため、公民館まつりを開催し、ふれあいの場、交流の場としての活用を図っている。

なお、今後については、公民館の活性化を図るため、各公民館へ社会教育指導員が出向き、生涯学習に関係する各種の相談に応じる「ふれあいの場」の開設等について、検討していきたいと考えている。

4 点目について、湯本地域については、公民館がないわけですが、郷土資料館の学習室を利用して、湯本地域ワイワイ文化祭をはじめ、正月飾りづくり教室、子ども折り紙教室等の開催、また、本年4月に開設された山崎集会所において、来年の1月には「気功大極拳教室」を開催する予定である。

次に湯本地域のコミュニティセンター、公民館の設置については、ご承知のような財政状況の中、現時点でも先の見通しを立てることがなかなかできない状況である。

いずれにしても、公民館施設の適正配置や必要性については、総合的な見地から検討すべき課題でもありますが、効果率、効果的な活用を検討する中で、湯本地域のコミュニティセンター、公民館についても研究をさせてみたいと考えている。

